

## 仙台市在住者の農産物（米・野菜）購買行動

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

仙台市に在住する消費者の農産物（米，野菜等）購買行動と表示項目重視度，地元産農産物購入意向等が明らかとなったので，参考資料とする。

### 2 参考資料

- 1) 米の主な購入先は，スーパーが最も多く，次いで，生協，生産者から直接購入であり，米穀店からの購入は，平成14年の調査より低下している（図1）。それ以外の項目は，ほぼ同様の結果であった。
- 2) 野菜の購入先は，同様にスーパーが最も多く，次いで，生協，直売所からの購入である（図1）。平成14年は，八百屋が第3位であったが今回減少し，直売所より少なくなった。
- 3) 購入時に重視する項目を重視する順に3位まで聞いた場合，米では価格，味，品種，産地が選択され，野菜では新鮮さ，価格，産地が選択された。スーパーから購入している回答者は，特に価格を重視している傾向があった（図2）。
- 4) 米は，宮城県産を重視（意識）して購入する傾向にあり，野菜は米よりも全般に重視度が低かった。スーパーから購入している回答者は，地元産を重視しない傾向であった（図3）。
- 5) 多くの回答者はスーパーから購入しているが，価格重視志向であるため，スーパーでの地元産販売には，新鮮さなどの積極的なPRをおこない，地元産志向を定着させる必要がある。

### 3 利活用の留意点

- 1) 本調査は，仙台市在住の消費者319名へ郵送にてアンケート調査を実施（平成18年11月）した結果をまとめたものであり，有効回答数は218であった。また，比較できる項目については，平成14年7月に仙台市民（無作為抽出）を対象に実施したアンケート調査（2,000名へ発送，有効回答数394）と結果を比較した。
- 2) 回答者は50歳代以上が多い。
- 3) スーパーから購入している回答者には，複数回答のため，他からの購入を含む場合がある。スーパーから購入していない回答者は，生協，直売所，生産者から直接など，スーパーを除くすべての回答者である。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8119）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

農業生産構造及び農産物流通等の動向分析 平成14～18年度

##### 2) 参考データ

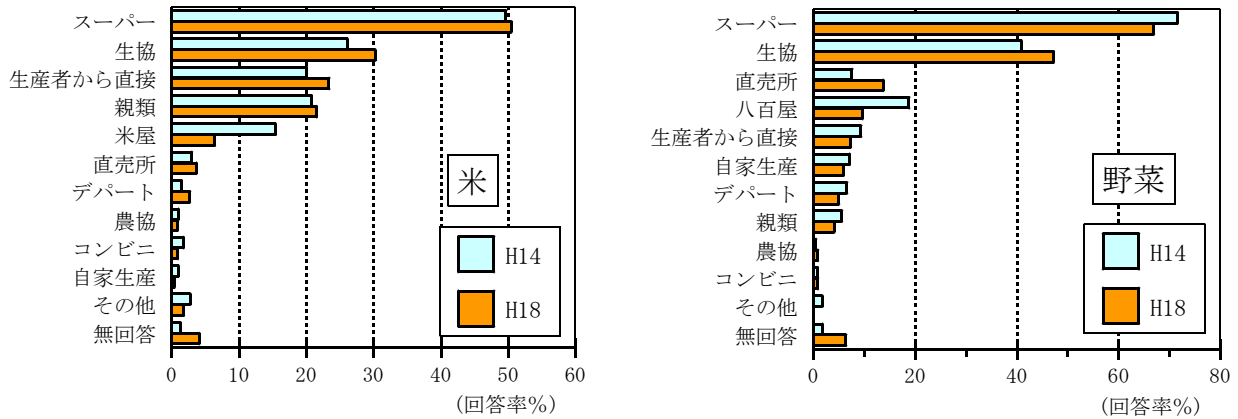


図1 主な農産物の購入先（左：米，右：野菜）（複数回答）

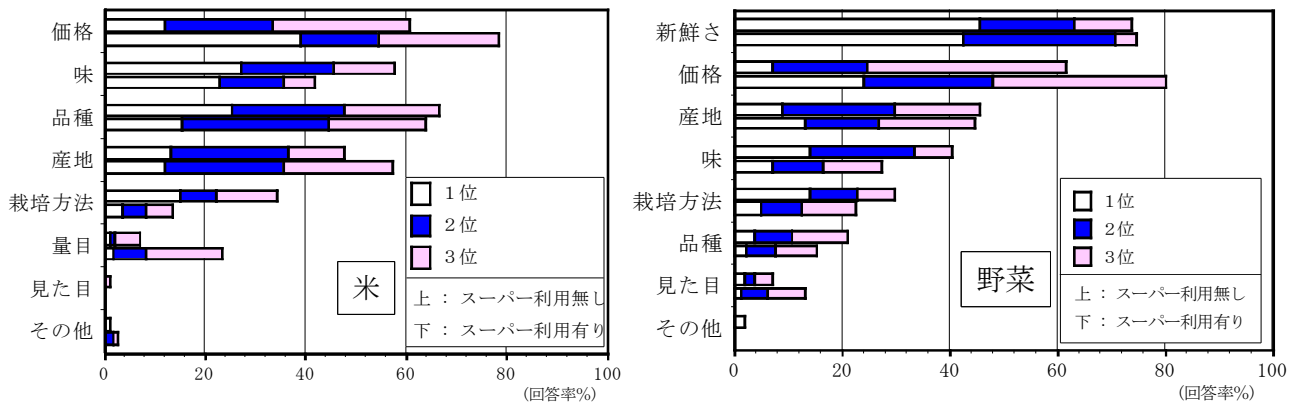


図2 購入先の違いによる重視項目（購入時に重視する順に3位まで）（左図：米，右図：野菜）  
（上段は，スーパーからの購入無し(米:99名, 野菜:57名)，下段は購入有り(米:110名, 野菜:146名)）

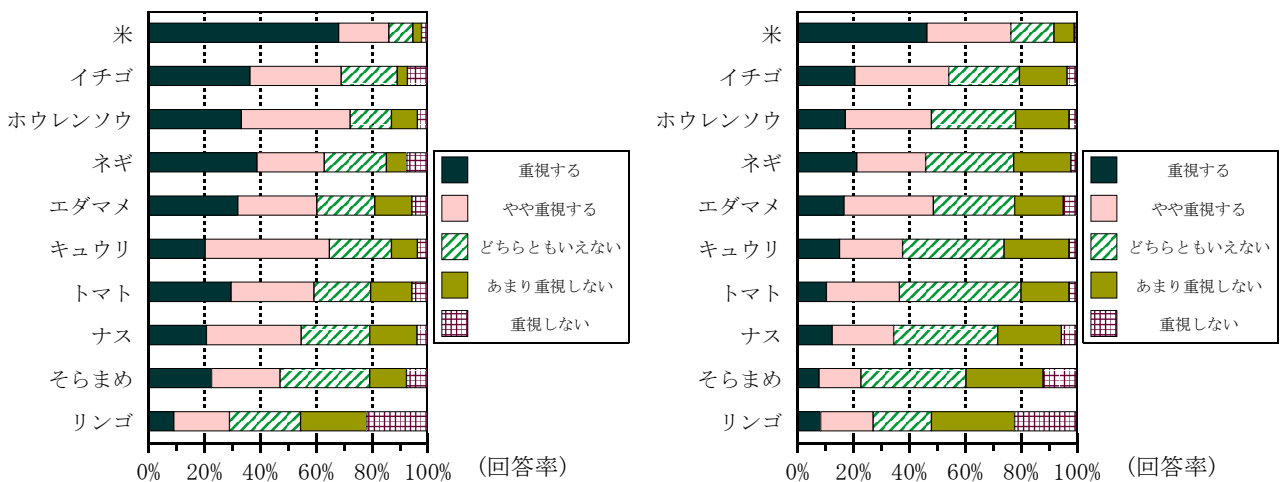


図3 購入先の違いによる地元産農産物重視度の違い（左：スーパーからの購入無し，右：購入有り）

##### 3) 発表論文等

なし